

「ファシリテイドッグ・プログラム 寄付金贈呈式」が執り行われました

認定 NPO 法人シャイン・オン・キッズを通して、
小児がんなどの重い病気と闘う子供たちとご家族を支援

アートコーポレーション株式会社(本社:大阪府大阪市中央区、代表取締役社長:寺田 千代乃)は、認定 特定非営利活動法人 シャイン・オン・キッズ(住所:東京都中央区日本橋本町、理事長:キンバリ・フォーサイス)が展開する「ファシリテイドッグ・プログラム※」に賛同し、10月11日(金)、本社にて、寄付金の目録贈呈式が執り行われました。



アート引越センターを中核とするアートグループでは、保育事業を運営しているアートチャイルドケア株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:村田 省三)を通じて、将来日本を支える子どもたちや働きながら子育てをする保護者を支援するために、全国で認可保育所病院内保育所や児童発達支援教室を運営しております。病気と闘う子どもたちや、ご家族、医療スタッフを支えるシャイン・オン・キッズの活動は、アートグループの思いと通ずることから、シャイン・オン・キッズが行っているクラウドファンディングに対して協力し、SDGs 活動の一環として、アートグループ全体で支援を行うことを決定いたしました。

贈呈式では、アートグループの従業員約 5,000 名に対して「ファシリテイドッグ・プログラム」の活動を周知して集まった寄付金に、会社としての寄付金を合わせて、合計 700 万円(10月10日現在)の目録を寺田千代乃社長からシャイン・オン・キッズ事務局長のニーリー美穂様へお渡しいたしました。

「ファシリテイドッグ・プログラム」とは

ファシリテイドッグ(特定の施設で活動するために専門的に育成された犬)とハンドラー(犬をあつかう専門的なトレーニングを受けた看護師)がペアになり、患者の治療や入院生活に寄り添う活動です。ファシリテイドッグの大きな特徴は、毎日同じ病院に勤務し、個々のニーズに合わせた活動を行うことです。プレイルームでの触れ合いから、つらい検査や手術室への付き添い、リハビリ支援なども行います。ときどき訪れて短い時間だけふれ合うのではなく、同じ犬がいつもそこにおいて、多くの時間を繰り返し過ごせることが、入院治療している子どもたちの心の励みになっています。

認定 特定非営利活動法人シャイン・オン・キッズ

<http://sokids.org/ja/>



シャイン・オン・キッズ事務局長のニーリー美穂様



アートコーポレーション株式会社 代表取締役社長 寺田千代乃

その他の SDGs の取り組みはこちら

<https://www.the0123.com/company/sdgs.html>